

## 下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 評価分析シート

## 平成29年度

【評価分析シート(例)】

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
1	〇〇〇〇活用件数	1件	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	延20件
	実績値		6件 (延6件)	4件 (延10件)			
	(項目の説明)	達成度	A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度は、広報誌への掲載、ホームページの情報更新、PRチラシの配布など周知活動に力を入れた結果、年度目標の4件の活用があった。今後は、市内での活用事例の紹介なども行うなど、周知活動に継続的に取り組むとともに、制度の見直しなどを図りより利用しやすい制度にしていき、目標値達成に努める。					
担当課	〇〇課						

## 【年度目標値】

目標値(平成31年度)達成に向けた各年度の目標値

## 【実績値】

各年度末での実績値(本年は平成28年度について記入)

## 【達成度】

年度目標値と実績値をもとにした各年度の達成度

※延数がある場合には、延数の年度目標値及び実績値により評価するものとする。

## 【平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組】

平成28年度の取組とそれに伴う実績値の分析、それらを踏まえて今後どのような取組を行うのかについて。

達成度	評価基準
A	年度目標に対する進捗状況が 100%以上
B	年度目標に対する進捗状況が 80%以上、100%未満
C	年度目標に対する進捗状況が 50%以上、80%未満
D	年度目標に対する進捗状況が 50%未満
—	数値化できないもの

進捗状況 = 実績値 ÷ 年度目標値 の数値(%)

※ただし、KPIの目標値が基準値より数値を下げる項目においては、  
年度目標値 ÷ 実績値 の数値(%)

# 下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価分析シート

## 基本目標①「魅力的で安定した雇用を創出する」

数値目標	基準値	実績値				目標値 平成31年
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
生産年齢人口の割合	63.9% (H27年における推計)	63.7%	63.4%			61.8%
【数値目標の説明】 少子高齢化が進行し、また市の人口が減少すると予測される中において、人口ビジョンの将来展望が示す生産年齢人口割合の維持を図る。		【平成29年3月末日】 (15歳以上65歳未満人口 38,090人) ÷ (下野市総人口 60,062人) = 63.4% ※栃木県毎月人口調査報告書(平成28年10月1日現在の数値)によると、栃木県全体では60.6%であり、下野市(63.2%)は県内4位である。				

(ア) 商工業に躍進するまちづくり	商工業の活性化による魅力ある地域づくりを推進します。
-------------------	----------------------------

### ①商工業による躍進するまちづくり

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
1	制度融資新規活用件数	年度目標値	177件	200件	200件	200件	200件
		実績値		130件	172件		
		達成度		C	B		
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		設備資金の融資枠拡大、運転・円滑化資金の融資期間延長、運転資金の1年資金の新設、一部利率の引き下げ、円滑化資金の増額借換制度の追加を行い、制度融資の利便性向上を図った。 また、災害時の中小企業支援策とし、災害対策資金を創設した。制度融資の利便性向上により、新規活用件数の増加が図れた。 今後も新規融資や制度内容を見直し、活用促進を図る。					
担当課	商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
2	空き店舗奨励金等活用件数 (空き店舗奨励金の活用件数)	年度目標値	2件	3件 (延3件)	3件 (延6件)	3件 (延9件)	3件 (延12件)
		実績値		2件 (延2件)	7件 (延9件)		
		達成度		C	A		
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		空き店舗奨励金の認定件数は7件、交付件数は4件であった。 従来のPRIに加え、金融機関への協力依頼、まちなか商店リフォーム補助の新設などによる相乗効果、地方創生の推進による新規開業意欲向上により実績が向上したと思われる。 今後もPRを続けるとともに、平成28年度から始まった創業塾を活用し、新規出店の意欲向上を図る。					
担当課	商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
3	駅前広場事業実施箇所数 (JR3駅での花いっぱい事業の実施箇所数)	年度目標値	2か所	3か所	3か所	4か所	4か所
		実績値		3か所	3か所		
		達成度		A	A		
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		JR小金井駅・自治医大駅・石橋駅各駅の西口でプランタを利用した花によるお出迎えを行った。今後とも、継続して実施していく。					
担当課	商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
4	企業交流会・講習会の開催回数 (工業団地内立地企業相互や市内産業連携につながる交流会の開催)	年度目標値	年1回	1回	1回	1回	1回
		実績値		1回	1回		
		達成度		A	A		
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		7月12日に岡田晃氏による「経済先読みの達人を目指せ」の講演会を開催し105名の参加を、引き続き実施した交流会では72名の参加を得た。 今後も講演会・交流会を開催するとともに、市内立地企業による組織を立ち上げ交流推進を図る。					
担当課	商工観光課						

②新たな産業の誘致・育成

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
5	雇用奨励金活用件数  (市民居住労働者の雇用促進のための奨励金の活用件数)	年度目標値	1件	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	延20件
		実績値		8件 (延8件)	0件 (延8件)			
		達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		広報、ホームページ、各種総会の際に制度のPRを行ったが実績はなかった。 (平成28年の実績値が延8件であり、年度目標値の延件数を達成しているため達成度はAとなる。)						
担当課		商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
6	創業資金利用件数  (創業・女性企業家資金の活用件数)	年度目標値	7件	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	延20件
		実績値		1件 (延1件)	6件 (延7件)			
		達成度		D	B			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		創業資金5件、女性企業家創業資金1件の合計6件の活用があった。 平成28年度新規取り組みとして、しもつけ創業塾を開催し、新規開業の基礎知識習得機会を増やした。						
担当課		商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
7	事業所数  (工業統計事業所数)	年度目標値	113事業所	114事業所	115事業所	116事業所	117事業所	120事業所
		実績値		107事業所	107事業所			
		達成度		B	B			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		新規事業所の立地できる土地がほとんどない状況で事業所数は横ばいであった。 新規事業所の立地のためにも、受け皿となる産業団地造成に係る業務の推進を図る。						
担当課		商工観光課						

③雇用・就業機会の拡充

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
8	ICT講座参加者数  (市独自のICT(情報通信技術)講座参加者数)	年度目標値	17人	20人 (延20人)	20人 (延40人)	20人 (延60人)	20人 (延80人)	延100人
		実績値		33人 (延33人)	33人 (延66人)			
		達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		昨年度に引き続き、想定以上の参加が得られた。 今後も、商工会に委託し実施する。						
担当課		商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
9	技能検定合格者表彰者数  (技能検定特級、一級及び単一級の表彰人数合格者数)	年度目標値	17人	25人 (延25人)	25人 (延50人)	25人 (延75人)	25人 (延100人)	延125人
		実績値		3022人 (延3022人)	23人 (延45人)			
		達成度		A B	B			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度の技能検定合格者は23人であり、延45人であった。 指標を「表彰者数」としていたが、表彰式を産業祭(10月)に開催することに変更したため、表彰者数を指標としてしまうと半期分の実績値となってしまうため、指標を「合格者数」へ変更する。変更に伴い、平成27年度の実績を30人から22人に修正する。						
担当課		商工観光課						

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
10	近隣市町等との共催による合同説明会の開催	年度目標値	年1回	1回	1回	1回	1回	毎年開催
		実績値		2回	2回			
		達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		6月3日におやま地区大卒等合同企業説明会、3月16日に大卒等合同企業説明会を小山グランドホテルを会場に開催した。 小山地区雇用協会の一員として説明会を開催する。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
11	本場結城紬展示会開催回数	年度目標値	年1回	1回	1回	1回	1回	毎年開催
		実績値		1回	3回			
		達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		7, 8月に風土記の丘資料館で機織り機の展示を行い、8月7日には機織り体験を行った。 10月2日にしもつけブランドフェアにおいて、機織り機の展示を行った。 2月11, 12日に南河内公民館まつりで展示・実演・体験を行った。 平成29年度は、南河内公民館まつりにて展示・実演・体験を行う予定である。						
担当課	商工観光課							

(イ) 地域の特性を活かした農業・農村づくり	魅力ある農畜産物の生産と効率的な経営による継続的な農業環境づくりを推進します。
------------------------	---

①都市近郊型農業の推進

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
12	新メニューの提供数 (市内農畜産物を利用した新メニューの延べ開発数)	年度目標値	—	2件 (延2件)	2件 (延4件)	2件 (延616件)	2件 (延918件)	延10件 延20件
		実績値		2件 (延2件)	12件 (延14件)			
		達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度は、ウェスティンホテル東京で開催された「かんぴょうサミット」において、かんぴょうを使った新メニュー12種類の試食を行った。今後も地元農産物(ブランド)を使った新メニューの開発を行っていく。						
担当課	農政課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
13	生産技術向上等講習会の開催 (市内農畜産物の生産技術向上と若手農業者育成のための講習会)	年度目標値	—	2回	2回	2回	2回	年間2回
		実績値		2回	3回			
		達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度は、認定農業者を対象に年間3回実施した。引き続き経営部門に偏りが無いよう工夫しながら開催していく。						
担当課	農政課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
14	下野市地産地消応援団認定数 (下野市産農畜産物の利用促進に取り組む市内・市外の延べ事業所数)	年度目標値	47事業所	50事業所	53事業所	56事業所	58事業所	60事業所
		実績値		47事業所	51事業所			
		達成度		B	B			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		認定数は昨年から4事業所増加した。今後も未認定事業所に事業の趣旨を説明し理解を得ていただき認定数を増やしていく。						
担当課	農政課							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
15	市内農産物直売所の販売額	年度目標値	8億円	8億4000万円	8億8000万円	9億2000万円 10億2000万円	9億6000万円 10億6000万円	10億円 11億円
		実績値		8億9500万円	9億4700万円			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市内直売所の総販売額の実績は、前年度比5200万円の増となった。しかしながら、その約50%が道の駅しもつけの販売額であった。本年度は、石橋地区都市農村交流施設が開所となり今後販売額の増加が見込まれ、更なる販売増を目指す。						
	担当課	農政課						

### ②農業経営の改善

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
16	地域の担い手となる認定農業者数 (農業経営の目標に向け、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画が認定された農業者数)	年度目標値	280人	286人	292人	298人	304人	310人
		実績値		287人	288人			
	達成度		A	B				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度の実績は、前年比1人増の288人となった。今後は認定農業者のメリット等の説明を十分に行い、新規認定を含め後継者との共同認定による人数増を図っていく。						
	担当課	農政課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
17	新規就農者数(年間) (独立自営又は親元就農等で新たに農業を開始した年間農業者数)	年度目標値	8人	8人	8人	9人	9人	10人
		実績値		4人 7人	7人			
	達成度		C B	B				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度の実績は7人であり、前年度と同数の結果となった。目標値を達成できるよう今後も新規就農希望者(特に若手)の掘り起こしを、県農業振興事務所と情報を共有し実施していく。						
	担当課	農政課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
18	担い手の農地集積率 (市内耕地面積に対する認定農業者等の農地利用集積面積の割合)	年度目標値	40%	42%	44%	46% 49%	48% 50%	50% 52%
		実績値		42%	48%			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度の担い手の農地集積率は6%増の48%となったが、目標値52%を達成するには更なる集積が必要になることから、今後も市農業公社と連携を図り、農地中間管理機構を活用した集積を積極的に進めていく。						
	担当課	農政課						

### ③農業生産基盤の整備

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
19	ほ場整備新規採択地区数 (県営ほ場整備(区画整理・水路・農道等の一体的な整備)事業の新規採択地区数)	年度目標値	—	—	—	新規1地区	—	新規1地区
		実績値		—	—			
	達成度		—	—				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度は換地等調整事業の残事業となる合意形成、地域営農構想作成、経営体育成方針作成を行った。平成29年度は計画樹立にあわせ事業採択を目指す。						
	担当課	農政課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
20	農業水利施設の機能診断・保全 計画策定数	年度目標値	7か所	9か所	12か所	—	—	12か所
	(市内水利施設に係る長寿命化 のための診断・保全計画の延べ 策定数)	実績値	7か所	9か所	12か所			
		達成度		A	A			
	平成28年度 of 取組と実績値の分 析及び今後の取組	平成24年度に北河原堰改修完了、平成30年度から宮前堰改修予定、平成26年度までに5 つの堰(幕田堰、関沢堰、成田堰、五千石堰、蟹川堰)が保全計画策定、平成27年度には2 つの堰(上台用水堰、細谷堰)が保全計画策定済となった。平成28年度に残る3つの堰(鯉 沼堰、上吉田堰、関堀堰)の保全計画を策定し完了した。						
	担当課	農政課						

## 基本目標②「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 平成31年
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
転入者数	2,319人	2,309人	2,276人			2,550人
【数値目標の説明】 合併以来9年間の転入者の平均が2,470人であるのに対し、直近の2年間は2,300人台で推移しているため、毎年度2%の転入者増を目標に、5年後、10%の転入者増を目指す。	平成28年(1月～12月)の転入者(日本人)は2,276人であり、33名減となった。					
観光入込客数	252万人	284万人	247万人			277万人
【数値目標の説明】 市内観光施設・イベントへの来訪者数(観光庁の観光入込客数)。	平成28年(1月～12月)の観光客入込数は247万人で前年比87%であった。道の駅しもつけの入込数が211万人(前年比82.9%)と伸び悩んだことに加え、天平の花まつりは、天候不順により19万7千人(前年比94.7%)と減少した。【平成28年栃木県観光客入込数推定調査結果(平成28年1月～12月)より】道の駅や各市内の施設、イベント等との連携を検討しながら、観光入込客数を伸ばしていきたい。					

(ア) 快適に住み続けられる住環境・緑環境・交通環境・水環境づくり	JR3駅を中心としたコンパクトなまちづくりによる住みやすい環境づくりを推進するとともに、うるおいのある緑・水辺の環境づくり、人に優しい交通環境づくり、安全で快適な水環境づくりを推進します。
-----------------------------------	--

### ①土地利用の推進

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
21	立地適正化計画策定 (都市再生特別措置法の改正に伴い策定する「コンパクトなまちづくりを進めるための計画」)	—	—	策定	—	策定	策定
	年度目標値	—	—	策定			
	実績値	—	—	策定			
	達成度	—	—	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		立地適正化計画における都市機能誘導区域及び誘導施設の設定について、予定どおり平成29年3月31日に策定し、公表した。今後の取組として、平成29年度、30年度の2か年で居住誘導区域の設定及び立地適正化計画全体を策定し、平成31年3月までに公表する。					
担当課	都市計画課						
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
22	土地区画整理事業整備面積 (事業費ベース進捗率による整備面積)	467ha	471.7ha	473.7ha	478.6ha	482.9ha	493ha
	年度目標値	467ha	471.7ha	473.7ha	478.6ha	482.9ha	493ha
	実績値	467ha	469.3ha	473.7ha			
	達成度	—	B	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度は道路築造・宅地造成工事・道路照明灯設置工事、物件移転補償などを実施した結果、前年度比4.4ha増の473.7haとなった。今後も目標値である493ha達成のため、引き続き居住環境の向上と良好な宅地の供給を図り、目標達成に向けて事業推進を図っていく。					
担当課	区画整理課						
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
23	地籍調査完了面積 (完了面積)	1.72km <sup>2</sup>	2.19km <sup>2</sup>	2.65km <sup>2</sup>	4.98km <sup>2</sup>	7.15km <sup>2</sup>	8.01km <sup>2</sup>
	年度目標値	1.72km <sup>2</sup>	2.19km <sup>2</sup>	2.65km <sup>2</sup>	4.98km <sup>2</sup>	7.15km <sup>2</sup>	8.01km <sup>2</sup>
	実績値	1.72km <sup>2</sup>	2.19km <sup>2</sup>	2.65km <sup>2</sup>			
	達成度	—	A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		小金井Ⅲ地区(0.15km <sup>2</sup> )の登記がH28年10月11日、小金井Ⅳ地区(0.31km <sup>2</sup> )の登記がH28年12月26日に完了した。今後も地籍調査と並行して、過年度に調査を実施した箇所の認証、登記を行う。					
担当課	建設課						

### ②住環境の整備

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
24	新規住宅取得者家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助件数 (対象要件を満たす家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助の件数)	—	0件	10件 (延10件)	20件 (延30件)	20件 (延50件)	延70件
	年度目標値	—	0件	10件 (延10件)	20件 (延30件)	20件 (延50件)	延70件
	実績値	—	—	5件 (延5件)			
	達成度	—	—	C			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		本件については東京ソラマチを中心に積極的にPR活動に努めてきた。しかし、東京圏在住者に限定したことや、どうしても敬遠されがちな除草作業などが原因と考えられるが、目標値の半分に留まってしまった。今後は、平成29年度に創設された定住促進住宅新築等補助が付け加えられ、充実したことをPRしたい。					
担当課	都市計画課						

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
25	生垣奨励金補助件数 (対象要件を満たす生垣設置に対する年間補助件数)	年度目標値	2件	5件	5件	5件	5件	5件
		実績値		3件	0件			
		達成度	C	D				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	本件は、緑豊かな潤いのある生活環境の実現を図るために施行された合併以前からの実績ある制度であり、積極的なPR活動に努めてきた。しかし、年々減少傾向にある。今後は、補助件数の拡大を図れるよう、平成29年度に創設された定住促進住宅新築等補助制度などと合わせた一体的なPRに努めたい。						
担当課	都市計画課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
26	木造住宅耐震診断及び耐震改修・建替補助件数 (木造住宅耐震診断事業・改修事業、耐震アドバイザー派遣事業の年間活用件数)	年度目標値	3件	4件	4件	4件	4件	4件
		実績値		1件	2件			
		達成度	D	C				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市では、既存建築物の耐震化の促進を計画的かつ総合的に推進することを目的にPRしてきた。しかし、新耐震基準が施行され約37年が経過し、耐震改修ではなく建替えとする傾向にあり、耐震診断等を要する案件が少なくなったものと考えられる。今後は、平成29年度に耐震建替の補助が付け加えられたことなどを市民にPRしながら耐震化の向上に努めたい。						
担当課	都市計画課							

③公園・緑地・交通環境の整備、上下水道事業の推進

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
27	住民1人当たり都市公園面積 (市内の都市公園合計面積を市内人口で除した面積)	年度目標値	13.54㎡	13.54㎡	13.54㎡	13.54㎡	13.54㎡	16.53㎡
		実績値		13.54㎡	13.71㎡			
		達成度	A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年3月末現在の人口は60,062人、市内都市公園の合計面積は825,361㎡で、都市公園面積/人口=13.71㎡となった。これは、平成28年3月末から人口が192人増に対して、三王山ふれあい公園の一部供用開始によるものである。今後は、三王山ふれあい公園や大松山運動公園整備に伴う本格供用開始が予定されている。						
担当課	都市計画課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
28	新規公園整備・供用開始	年度目標値	—	—	新規1か所 —	— 新規1か所	—	新規1か所
		実績値		—	一部供用開始			
		達成度	—	—				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	都市再生整備計画事業による平成25年度から5か年計画での三王山地区公園整備事業を継続実施している。平成28年度7月には名称を三王山ふれあい公園としてキャンパスサイト及びドッグランを一部供用開始し計画どおりに順調に進捗している。平成29年度は平成30年3月の本オープンに向けて、看板設置工事等をはじめ公園内の施設等の整備を実施すると同時に広くPRをしていく。						
担当課	都市計画課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
29	公園施設長寿命化計画策定 (施設の健全度を把握する点検調査、点検結果に基づく長寿命化対策の計画書)	年度目標値	—	—	—	策定	—	策定
		実績値		—	—			
		達成度	—	—				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	社会資本整備計画に則り、平成28年度～平成29年度の2か年で本計画を策定するものである。平成28年度は、市内56都市公園の健全度調査と健全度判定の一部について業務委託を実施した。平成29年度は、残りの健全度調査と健全度判定の他バリアフリー化調査等を実施し長寿命化計画を策定する。						
担当課	都市計画課							

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
30	道路改良率 (実道路延長に対する規格改良 済道路延長の割合)	年度目標値	64.0%	64.2%	64.4%	64.6%	64.8%	65.0%
		実績値		64.5%	64.6%			
		達成度		A	A			
	平成28年度の取組と実績値の分 析及び今後の取組		一般市道・農道等の道路改良工事により実績値は僅かに上昇した。今後は、維持管理にシ フトせざるを得ない状況が予想されるため、さらに数値の上昇は緩やかなものとなる。					
担当課	建設課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
31	道路舗装率 (実市道延長に対する市道舗装 済延長の割合)	年度目標値	86.3%	86.5%	86.7%	86.8%	86.9%	87.0%
		実績値		86.7%	86.8%			
		達成度		A	A			
	平成28年度の取組と実績値の分 析及び今後の取組		一般市道・農道等の道路改良工事により実績値は僅かに上昇した。今後は、維持管理にシ フトせざるを得ない状況が予想されるため、さらに数値の上昇は緩やかなものとなる。					
担当課	建設課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
32	上水道普及率 (行政区域内人口に対する給水 人口の割合)	年度目標値	97%	97.12%	97.14%	97.16%	97.18%	97.20%
		実績値		97.12%	97.14%			
		達成度		A	A			
	平成28年度の取組と実績値の分 析及び今後の取組		未加入世帯に対し加入促進パンフレットを作成し訪問・配布を行った結果、僅かではあるが 普及率の向上が図られた。今後も引続き訪問を実施し加入の促進を図っていきたい。					
担当課	水道課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
33	下水道普及率 (全体人口に対する下水道を利用 できる人口割合)	年度目標値	75.4%	76.1%	76.8%	77.5%	78.2%	79.1%
		実績値		75.8%	76.3%			
		達成度		B	B			
	平成28年度の取組と実績値の分 析及び今後の取組		平成28年度は、主に仁良川区画整理地内と関根井笹原地区の下水道整備を計画的に実 施してきた結果、普及率の向上が図られた。今後は、事業計画の認可変更により整備区域 の拡大を図り、更なる普及率向上に努めたい。					
担当課	下水道課							

(イ) 魅力あふれる『観光まちづくり』  
「四季の自然と豊かな歴史・文化が薫る下野市」の環境をさらに磨いて、人が輝き、地域が  
輝くまちを創り、訪れた人がもう一度来たくなるまちを目指します。観光まちづくりを推進する  
ため、観光プロモーションの推進、道の駅しもつけを核とした観光の創出、観光協会の充実・  
強化、観光施設の環境整備・充実に取り組むとともに、農工商連携等による下野ブランドの  
展開、新たな観光資源の開拓、広域観光の連携・推進に取り組めます。

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
34	下野市観光協会HPアクセス数 (観光協会ホームページの年間 アクセス数)	年度目標値	13万2千件	13万5千件	14万1千件	14万6千件 20万件	15万件 20万5千件	15万5千件 21万件
		実績値		17万3千件	19万3千件			
		達成度		A	A			
	平成28年度の取組と実績値の分 析及び今後の取組		花まつり等の恒例イベントのほか、花畑景観事業、市外イベント等での出店PRを行った。協 会HPの記事更新を適時行い、今後もアクセス数の増進を図る。					
担当課	商工観光課							

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
35	道の駅しもつけ利用者数 (買い物等の市内外の年間利用者数)	年度目標値	260万人	264万人	268万人	272万人	276万人	280万人
		実績値		253万人	237万人			
	達成度		B	B				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	菜の花&れんげ景観事業、山形物産展等、各種イベント等の実施による集客を図ったが、慢性的に駐車場が不足していること等の影響により、減少してしまった。今後も利用者のニーズを考慮し、イベント等の実施により集客を図る。 【売上額 16億3,280万円→16億2,300万円、レジ通過者 138万人→132万6,000人】						
	担当課	商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
36	地産地消イベント開催回数 (道の駅しもつけでの地産地消イベントの年間回数)	年度目標値	4回	4回	5回	5回	6回	6回
		実績値		5回	5回			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	道の駅しもつけで7月と1月にかんぴょうまつり、10月に大鍋まつり、11月に収穫祭を開催し、天平の丘公園で11月に天平の芋煮会を開催した。今後も事業の継続・新規開拓を図る。						
	担当課	商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
37	観光自転車利用者数 (市内5か所に設置したレンタサイクルステーションでの観光自転車年間利用者数)	年度目標値	632人	646人 900人	659人 1,000人	673人 1,100人	684人 1,200人	700人 1,300人
		実績値		905人	1,469人			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	オアシスポップ館、自治医大駅・石橋駅、道の駅しもつけ、夜明け前において観光自転車貸出しを行った。広域観光推進協議会と連携し、二次交通のPRを図ったことから、二次交通としての個人利用が増えた。今後も引き続き、観光自転車のPRを実施する。 なお、利用者数の増に伴い、平成31年度の目標値を700人から1,300人へ上方修正する。						
	担当課	商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
38	オアシスポップ館利用者数 (「オアシスポップ館」の年間利用者数)	年度目標値	8,396人	8,577人	8,758人	8,938人	9,119人	9,300人
		実績値		9,619人	8,352人			
	達成度		A	B				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	インフォメーションセンターとして、市内外への情報発信、多目的ホールの貸出しを行った。観光協会が館内に移転し観光情報の提供体制が充実したことから、観光インフォメーションを中心に情報発信していく。						
	担当課	商工観光課						
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
39	下野ブランド認定件数	年度目標値	24件	27件	30件	34件	37件	40件
		実績値		28件	32件			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野ブランドの募集を行い、新規ブランド4件を新規認定した。今後は、下野ブランド力強化事業費補助金制度を活用し、ブランドのブラッシュアップを図る。						
	担当課	商工観光課						

(ウ) 交流の促進とシティプロモーションの推進	都市部住民と農村部住民の交流を促進し地域活性化を図るとともに、本市の強みである充実した自然環境・交通環境・居住環境・医療環境などの住みよさ及び魅力を市内外に発信することにより本市への新たな人の流れをつくるために、新たな交流拠点の整備及び更なる交流促進のための事業展開を図るとともに、パーソナルロボットを導入・活用しシティプロモーション事業等をより積極的に展開します。
-------------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
40	パーソナルロボットイベント参加回数 (東京圏を中心に行うイベントへの参加回数)	年度目標値	—	5回 (延5回)	10回 (延15回)	12回 (延27回)	12回 (延39回)	延50回以上
		実績値	—	4回 (延4回)	12回 (延16回)			
		達成度	—	B	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		東京ソラマチ、有楽町、吉祥寺、錦糸町など東京圏をはじめとし、多くの人が集まる県内で開催されたイベント会場においてシティプロモーション活動を行った。また、市内で開催されたイベントや式典、障がい者週間、税の週間において庁舎内での周知活動にも活用した。さらに、とちぎテレビの生中継放送への出演やツイッターなどでの情報発信にも努めた。社会貢献プロジェクトとして市内小中学校へ51台が導入がされたことに加え、商業施設などでの導入が増え、目新しさがなくなってきた部分もあるので、今後も活用について検討をしていく。						
担当課	総合政策課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
41	都市農村交流施設整備数 (石橋地区に開設予定の施設整備数)	年度目標値	—	—	新規1か所	—	—	新規1か所
		実績値	—	—	新規1か所			
		達成度	—	—	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度は、予定通り石橋地区都市農村交流施設(ゆうがおパーク)の整備を行った。(平成29年5月27日にオープン。)						
担当課	農政課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
42	体験農園の設置数	年度目標値	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所
		実績値	1か所	1か所	2か所			
		達成度	1か所	A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度は、石橋地区都市農村交流施設(ゆうがおパーク)の体験型農園が民有農地を利用して設置された。今後も、民有農地を活かした体験型農園の開設に取り組んでいく。						
担当課	農政課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
43	農産物加工体験施設の設置数 (農産物加工センター等の設置数)	年度目標値	3か所	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所
		実績値	3か所	3か所	4か所			
		達成度	3か所	A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度は、既存の3加工センターに加え石橋地区都市農村交流施設(ゆうがおパーク)の加工所が設置され、計4か所となった。						
担当課	農政課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
44	体験農園のイベント開催回数	年度目標値	1回	2回	3回	3回	3回	3回
		実績値	1回	3回	5回			
		達成度	1回	A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度は、市民農園等で農園まつり、さつまいもの収穫、田植え、稲刈り、ジャガイモの収穫などの体験イベントを行った。今後は、石橋地区都市農村交流施設(ゆうがおパーク)での体験農園イベントを実施していく。						
担当課	農政課							

### 基本目標③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 平成31年
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	95.4%	95.5%	96.9%			96.0%
【数値目標の説明】 乳幼児健康診査のアンケート調査において実施。	平成28年度は、基準値より1.5%増の96.9%となった。 ※乳幼児健康診査のアンケート調査における「この地域で、今後も子育てをしていきたいですか」という問いに対して「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。					
合計特殊出生率	1.41	—	—			1.60
【数値目標の説明】 人口ビジョンの将来展望の短期的目標で示した合計特殊出生率の向上を目指す。	2017年全国速報値1.44 栃木県1.46(全国35位)					

(ア) 子どもを健やかに産み育てる環境整備	子どもが健やかに成長し、生涯を通じて健康に過ごすためには、出産前からの支援と出産後の早期からの相談や健診の充実など、妊産婦や子育て中の保護者を地域で見守り、支える環境整備を推進します。
-----------------------	--

#### ①妊娠・出産への支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
45 両親学級参加率 (妊娠・出産・育児等に関する学級の妊婦と家族の参加率)	年度目標値	45.0%	47.0%	50.0%	55.0%	58.0%	60.0%
	実績値		45.70%	58.7%			
	達成度		B	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度実績は年度目標値を上回った。母子手帳発行時の窓口案内のみでなく、妊娠期からのフォローを要する妊婦に対しては電話等で参加勧奨を行った。市の教室への参加と重複する者も含まれるが、医療機関の教室に参加した者の割合は41.4%で、今までにどちらの教室にも参加したことがない者は19.6%であった。しかし、19.6%の中には市が個別支援で対応している者も含まれるため、出産までに産出や育児等に関する知識啓発の機会にまったく参加しなかった者はさらに少ないと考えられる。今後は、両親学級の目的に鑑み、安心した子育てを行うことができるよう、妊婦や家族が自らの産後について具体的に考える時間を導入していく方針である。					
担当課	健康増進課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
46 不妊治療助成件数 (保険対象外となる不妊治療及び不育症治療を受けた方への治療費の一部助成の年間件数)	年度目標値	100件	102件	104件	106件	108件	110件
	実績値		125件	123件			
	達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		前年から2件減となっているが、特定不妊治療の申請要件に年齢上限が設けられた事を考慮すると、申請状況は好調と思われる。今後は、特定不妊治療の年齢条件の影響で、年齢条件のない人工授精の申請件数の増加や申請者の年齢低下が予想される。また、平成28年度から特定不妊治療の際に採精手術を実施した場合、その分の費用についての上乗せ助成を開始したが、申請件数は0であったため、より一層の周知を図り対象者がいた場合の申請漏れを防止したい。					
担当課	健康増進課						

#### ②子どもや母親の健康の確保

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
47 乳幼児健康診査対象児の状況把握の割合 (乳幼児健康診査対象児の受診促進及び未受診者の状況把握)	年度目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値		100%	100%			
	達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		乳幼児健診受診率は98.6%であるが、未受診者については、虐待リスクの大きな要因となるため、個別の家庭訪問等により母子の状況確認を行っている。また、対象者数には、身体的疾患により入院中で市の健診を受診できない児や住民登録を残したまま海外へ居住地を移している児も含まれるため受診率は100%に達しないが、前者は医療機関との連携により、後者についても市内に残る祖父母等から確認を行う等して対象者全数についての状況を把握している。なお、転入者についても、転入手続き時に母子手帳等により受診状況を確認し、未受診者には受診案内を行い、受診済の者についても前居住地での事後フォローを実施している。					
担当課	健康増進課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
48	任意予防接種助成制度新規事業数	年度目標値	2	1	0	1	新規2事業
	(任意予防接種における市独自助成制度事業数)	実績値	2事業開始	1事業開始			
		達成度	A	A			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年10月からB型肝炎が定期接種化されたが、初年度は生年月日によって対象者の不公平感が生じるため、市独自に定期接種対象外の方に任意接種としての一部助成を開始した。(平成29年9月末までの時限措置)任意接種者数は延べ351人であり、全額自費であったため接種を見送っていた方が一部助成を実施したことにより接種を開始したことがうかがえる。 今後は目標達成に向け、平成30年度からインフルエンザの一部助成を開始予定のため、助成条件等を検討していく。					
	担当課	健康増進課					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
49	保育園・幼稚園等での食育教室実施回数	年度目標値	8か所	9か所	9か所	10か所	10か所
	(下野市食育推進計画に基づく実施箇所数)	実績値	16か所	16か所			
		達成度	A	A			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	H28年度は、乳幼児対象208名、保護者対象170名に保育園等で食育啓発活動及びアンケートを実施した。参加した95.7%の方が食育活動は参考になったと回答し、塩分や嗜好品の摂り方、幼児期の食事について参考になったとの意見が多かった。H29年度も引き続き食育活動を実施していくとともに、児童館、子育て支援センターにおいては、母子分離方式により保護者が集中して参加できる体制を確保していく。					
	担当課	健康増進課					

③育児不安の軽減と虐待防止への支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
50	こんにちは赤ちゃん全戸訪問事業・把握率	年度目標値	100%	100%	100%	100%	100%
	(生後4か月までの子どもを持つ家庭への助産師・保健師の訪問及び状況把握)	実績値	100%	100%			
		達成度	A	A			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	【こども福祉課】 訪問対象者数に対する把握率で、訪問拒否や入院中で訪問できないケースもありますが、養育状況は確認できているため全ケース把握している。そのため、ハイリスクなケースについては、早期に介入できており適切な支援につなげられている。 【健康増進課】 把握率は平成28年度訪問対象者数(出生数)486人に対する数値である。疾患等により対象児が入院中により訪問できないケースもあるが、電話や医療機関との連携により養育状況は確認できているため全対象者について把握している。ハイリスクケースについては、担当保健師につなぎ早期介入している。今後は、父や祖父母等が出生届けの手続きに来庁したため、母と直接面接出来なかったケースについて、新たに設立された子育て世代包括支援センターから電話連絡する等、積極的かつ早期に対応していく。					
	担当課	こども福祉課 健康増進課					

(イ) 心身ともに健やかな子どもの育ちを支える取組の推進	市民一人ひとりが自分を大切に思い、人を大切に思う心を育み、また、自分がかげがえのない存在であることを実感するなど、次代の親としての成長を支援する取組を推進します。
------------------------------	---

①思春期の心身の健康づくり

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
51	思春期講座開催小中学校数	—	15小中学校	15小中学校	15小中学校	15小中学校	16小中学校
	実績値		15小中学校	15小中学校			
	(関係機関が連携した小中学校での思春期講座の開催)	達成度	A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		市内小中学校は全部で16校であるが、小規模校2校は隔年実施のため全校実施の場合は15校となる。平成28年度は、講座内容について、市内小学校にアンケートを行ったところ、健康増進課で必要と考える講座内容と学校の求める講座内容がほぼ合致しており適切に実施できていることが確認できた。今後も各学校と連携し引き続き事業を継続していく。					
担当課	健康増進課						

②豊かな子どもをはぐむ地域力の向上

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
52	児童館利用者数	30,061人	30,500人	30,750人	31,000人	31,500人	31,500人
	実績値		25,632人	26,192人			
	(児童館の年間利用者数)	達成度	B	B			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		「地域とともに歩む児童館」として3世代交流や地域内の交流を推進する事業に取り組んできた。今後も、地域と密着した児童館の定着に努め、身近な子育て支援施設として推進を図っていく。					
担当課	こども福祉課						

③親育ちへの支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
53	両親学級参加率 (再掲:45)	45.0%	47.0%	50.0%	55.0%	58.0%	60.0%
	実績値		45.70%	58.7%			
	(妊娠・出産・育児等に関する学級の妊婦と家族の参加率)	達成度	B	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		【再掲:45】 平成28年度実績は年度目標値を上回った。母子手帳発行時の窓口案内のみでなく、妊娠期からのフォローを要する妊婦に対しては電話等で参加勧奨を行った。市の教室への参加と重複する者も含まれるが、医療機関の教室に参加した者の割合は41.4%で、今までにどちらの教室にも参加したことがない者は19.6%であった。しかし、19.6%の中には市が個別支援で対応している者も含まれるため、出産までに産後や育児等に関する知識啓発の機会にまったく参加しなかった者はさらに少ないと考えられる。今後は、両親学級の目的に鑑み、安心した子育てを行うことができるよう、妊婦や家族が自らの産後について具体的に考える時間を導入していく方針である。					
担当課	健康増進課						

(ウ) すべての子育て家庭を応援する体制の充実	利用者の視点に立ってきめ細やかなサービスの提供・確保はもとより、母親だけでなく父親も仕事と子育てが両立できる環境づくりを推進し、また、それらの支援等を必要とする人が、適切にサービス等を利用できるよう、情報提供や交流、相談支援等を通じた周知・啓発に取り組めます。
-------------------------	--

①教育・保育及び子育て支援事業の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
54	放課後児童クラブ実施箇所数	年度目標値	13か所	13か所	13か所	13か所	14か所	14か所
		実績値		13か所	13か所			
		達成度		A	A			
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		国分寺東小学児童保育室開設に向けて工事を行い、平成29年度から学校敷地内での安全・安心な保育ができるようになった。国分寺小学校区の利用者が増えていることから、平成29年度は既存の駅西児童館の増設工事に向けた設計を行い、平成30年度からの学童増床により保育室の確保に努める。						
担当課	こども福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
55	待機児童数 (入所要件を満たすにもかかわらず施設に入所できない児童の数)	年度目標値	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		実績値		0人	0人			
		達成度		A	A			
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		入所要件の緩和等により保育の需要は増加している。今後も公立保育園の保育士の確保並びに幼稚園の認定こども園への移行を推進し、待機児童の減少に努める。						
担当課	こども福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
56	認定こども園数 (教育・保育を提供する機能を併せ持つ施設の数)	年度目標値	4か所	4か所	5か所	5か所	6か所	6か所
		実績値		4か所	5か所			
		達成度		A	A			
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度末は目標どおり5か所である。平成29年度に薬師寺幼稚園が保育所部分の整備を考慮しており、平成29年度から認定こども園となることで実施箇所数は6か所になる予定である。今後も市民のニーズに応えられるよう幼稚園の認定こども園への移行を推進する。						
担当課	こども福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
57	休日保育事業実施園数	年度目標値	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
		実績値		2か所	2か所			
		達成度		A	A			
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		現在2か所で実施しており、市民のニーズに対して受け皿は充足している。今後も利用者のニーズを的確に把握し事業を実施していく。						
担当課	こども福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
58	夜間保育事業実施園数	年度目標値	—	—	—	—	—	1か所
		実績値		—	—			
		達成度		—	—			
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		夜間の預りは、ファミリーサポートセンターの利用により対応している。引き続き利用者のニーズの把握に努める。						
担当課	こども福祉課							

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
59	乳児保育事業実施園数	年度目標値	12か所	12か所	13か所	13か所	13か所	13か所
		実績値		12か所	13か所			
		達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度末時点において、13か所で実施している。平成29年度に薬師寺幼稚園が保育所部分を整備し、平成30年度から認定こども園となり、14か所になる予定である。今後も市民のニーズに応えることができるよう努める。						
担当課	こども福祉課							

②子育てに関する情報・相談・交流の充実

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
60	児童館の整備箇所数	年度目標値	—	—	—	—	—	1か所
		実績値		—	—			
		達成度		—	—			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		石橋地区に複合施設としての児童館の整備を検討しているが、平成28年度は石橋児童館の老朽化に伴う閉館のため、こどもの広場いしばしを開設して対応してきた。整備が具体化した場合は、地域全体の子育て拠点として、子どもたちが安全・安心に利用できる児童館の整備に努める。						
担当課	こども福祉課							

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
61	子育て応援HP「ママフレ」アクセス数 (「ママフレ」の年間アクセス数)	年度目標値	22,400件	22,840件	23,280件	23,720件	24,160件	24,600件
		実績値		18,224件	15,858件			
		達成度		B	C			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		子育てに関する情報発信の一つとして「ママフレ」を活用し、市の子育て支援事業の提供を行った。今後は、市の子育て支援事業の一層の周知を図るべく、市ホームページのリンク位置変更やリーフレットの配布などに努めていく。						
担当課	こども福祉課							

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
62	利用者支援事業実施箇所数 (子ども・子育て支援に関する相談援助、情報提供を行う窓口設置箇所数)	年度目標値	—	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
		実績値		1か所	1か所			
		達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		子育て支援センターや児童館、乳幼児健診会場に出向き、利用者支援事業の周知や市民からの情報収集に努めた。今後は窓口での入園相談や、年度途中で発生する待機児童の保護者へのフォローに努める。						
担当課	こども福祉課							

②ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
63	職場での男女平等について、募集や採用において「平等になっている」と回答する人の割合 (男女共同参画プラン策定時アンケート調査において実施)	年度目標値	51.9%	—	—	—	—	57.0%
		実績値		—	—			
		達成度		—	—			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		第二次男女プランが平成28年度からスタートしており、目標値を達成すべく、各施策の実施につとめた。アンケートは3次プラン策定に向け平成31年度に実施する予定。						
担当課	市民協働推進課							

(エ) 多様な「出会い」の支援	コミュニケーションスキル等の学習の場を提供するとともに、市民団体等と連携し、「出会い」の場の創出・支援に取り組めます。
-----------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
64	婚活に関するスキルアップ事業数	年度目標値	—	—	1事業	1事業	1事業
	(生涯学習による婚活支援事業数)	実績値	—	—			
		達成度	/	—	—		
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		平成29年3月発行の平成29年度版「生涯学習情報誌エール」に掲載。 平成29年度にマナーやコミュニケーション力をアップさせるための講座を開催する。					
担当課	生涯学習文化課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
65	婚活支援事業数	年度目標値	2事業	3事業	3事業	3事業	3事業
	(市民が主体となり実施する婚活イベント等事業数)	実績値	2事業	3事業			
		達成度	/	A	A		
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		<b>【市民協働推進課】</b> 市民活動補助事業の実績は、石橋ライオンズクラブのみ1件であった。民間での実施数はグリコン1件(下野市ウインター活性化推進委員会主催)があった。 また、平成29年度は下野ライオンズクラブが補助を受けずに実施したところである。 <b>【総合政策課】</b> 下野市・上三川町・壬生町連携会議において、新たな人の流れを生み出す1市2町連携プロジェクト事業として、東京圏からの女性を呼び込む連携婚活バスツアーを3回実施した。 平成28年度実施のアンケート結果について検討し、翌年度の婚活支援事業に反映させ、さらに魅力ある事業となるよう調整しながら実施していく。					
担当課	市民協働推進課 総合政策課						

#### 基本目標④「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 平成31年
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
幸せだと感じている市民の割合	75.0%	—	—			78.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「幸福感」の項目で、幸せだと感じていると回答した人の割合。	意識調査は平成31年度実施予定					
住みやすいと感じる市民の割合	84.0%	—	—			87.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「下野市について」の項目で、住みやすい・どちらかといえば住みやすいと回答した人の割合。	意識調査は平成31年度実施予定					

(ア) いきいき暮らせる健康づくり	充実した医療環境を活かし、市民一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりのため、各種がん検診や、保健福祉センター(きらら館・ゆうゆう館)、福祉センター(ふれあい館)を活用した事業などを総合的に展開した予防対策を積極的に推進し、また良好な救急医療体制を維持確保するため、一次・二次・三次の機能分化を促進するとともに「かかりつけ医」の普及啓発を推進します。
-------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
66	がん検診の受診率 (子宮頸がんを除く)	35.7%	38.0%	41.0%	43.0%	47.0%	50%以上 (乳がん60%以上)
	(各種がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん)の受診率)		38.0%	40.9%			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	達成度	A	B			
担当課	健康増進課	受診率は、胃がん20.6%、肺がん48.5%、大腸がん50.2%、乳がん(40歳以上)35.5%、乳がん(35~39歳)49.9%で、がん検診全体では40.9%の受診率であった。いずれの検診も前年度から受診率は向上しているが、わずか0.1%年度目標値に届かなかった。今後は受診勧奨の方法を検討するなど目標値を達成できるよう努めていきたい。					

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
67	健康づくり施設利用者数	25万8千人	25万8千人	26万5千人	27万3千人	28万人	28万8千人
	(ゆうゆう館・きらら館・ふれあい館の年間利用者数)		29万5千人	30万1千人			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	達成度	A	A			
担当課	社会福祉課	指定管理等によるふれあい館の利用者数増加により、約6千人の利用者増となった。 ■延べ利用者数 ゆうゆう館166,567人 ふれあい館97,417人 きらら館37,756人					

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
68	健康づくりへの取組の満足度	4	—	—	—	—	5
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)		—	—			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	達成度	—	—			
担当課	健康増進課	意識調査は平成31年度実施予定。 プールでエクササイズを実施するアクアサイズ教室を新設し、既存の歩クラスとはつつサロンは委託実施への変更により指導員の人数が増え、参加者個々に対するフォローアップが充実した。また、健康マイレージを健康づくりの動機づけとして実施しているが、今後は、健康づくりが継続して出来るように実績を評価しながら対象事業の見直しを行い、更なる市民の健康づくりの動機づけ及び運動習慣の定着化を目指す。					

(イ) 高齢者が元気で暮らせる体制づくり	高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進するため、自分らしい暮らしを人生の最後まで安心して続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指すとともに、高齢者が生きがいを持って地域社会とかかわることができるよう、介護予防や生活支援を推進し、介護サービス基盤の整備を進め、心身の状況や生活環境に応じたサービスの充実を図ります。
----------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
69	地域ふれあいサロンの設置数	年度目標値	14か所	16か所	17か所	19か所	21か所	23か所
		実績値		14か所	16か所			
	(地域ボランティアによる地域ふれあいサロン)	達成度		B	B			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市内のボランティアにより地域ふれあいサロンを設置し、高齢者の生きがいづくりにより介護予防につなげている。平成27年度途中で2か所のサロンが解散となってしまったが、平成28年度に新たに2か所のサロンが設置された。また、平成29年度から介護予防教室も行えるようにするなど介護予防への取り組みを強化している。 今後も、しもつけ元気はつらつ体操の取り組みなどにより、未設置地区など真に必要な地区へ推進していきたい。						
担当課	高齢福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
70	出会いふれあいサービス事業利用者数	年度目標値	990人	1,020人	1,050人	1,080人	1,110人	1,140人
		実績値		796人	824人			
	(概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象にした事業の年間利用者数)	達成度		C	C			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度は、3地区ごとに月1回の出会いふれあいを開催。継続参加者の高齢化や体調悪化によって欠席者や退会者が増加したため、参加者が減少傾向となっている。地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携し、対象者への参加勧奨、また、出会いふれあいで行うレクリエーションや教室の内容について検討を行い、参加者にとって魅力ある事業となるよう取り組んできたが、平成29年度からは一般介護予防事業の一環として展開することとなったため廃止。						
担当課	高齢福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
71	認知症地域支援推進員の配置数	年度目標値	1か所	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所
		実績値		3か所	4か所			
	(基幹型を含む各地域包括支援センターへの配置)	達成度		A	A			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度は、市内3か所の地域包括支援センター職員4名が認知症地域支援推進員研修を受講した。その結果、各地域包括支援センターの職員7名と、基幹型地域包括支援センターの職員1名の計8名が地域支援推進員として設置されることとなった。今後は、各地域包括支援センターに配置されている推進員の数を増やしていくことを目指していく。						
担当課	高齢福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
72	認知症サポーター数	年度目標値	2,085人	660人 (延2,745人)	670人 (延3,415人)	680人 (延4,095人)	680人 (延4,775人)	725人 (延5,500人)
		実績値		1,513人 (延3,628人)	1,352人 (延4,980人)			
	(認知症サポーター養成講座の延べ参加者数)	達成度		A	A			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市民をはじめ、小中学校、大学、自治会、民間企業等を対象に34回の認知症サポーター養成講座を開催した。その結果、1,352名の認知症サポーターが新たに誕生し、認知症サポーター数は延べ4,980名となった。第6期高齢者保健福祉計画で設定した目標である「サポーター数4,000人」も達成し、「認知症サポーター4,000人達成イベント」を開催した。また、認知症サポーター受講者を対象に、フォローアップ講座を2回開催した。						
担当課	高齢福祉課							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
73	高齢者福祉の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	年度目標値	—	—	—	—	4
	実績値	3	—	—			
	達成度		—	—			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		基幹型地域包括支援センターを設置2年度目となり、各地域包括支援センターの機能強化を図った。地域包括ケアシステムの推進に向けて事業を展開していく。 平成27年度に宇都宮農協、小山農協、市内郵便局6ヶ所、とちぎコープ、よつば生協と高齢者見守りネットワーク協定を締結したが、平成28年度新たに北日本ガスと高齢者見守りネットワーク協定を締結した。身近な事業所がネットワークに参加したことにより、見守り体制の強化が図れた。引き続き見守りネットワークの拡大に努めていく。					
担当課	高齢福祉課						

(ウ) 障がい者(児)とともに生きる環境づくり	障がい者(児)が地域で自立した生活を送ることができる環境づくりを推進するため、障がいのある人の相談の場の確保、日常生活や地域生活の支援などの充実を図るため、障害福祉サービス事業所との連携を強化します。また、育成医療、更生医療などの自立支援医療の給付や重度心身障がい者(児)医療費助成を引き続き実施します。さらに障がいのある児童については、個々の障がいの状況や特性に応じた適切な療育や保護者への総合的な相談を行うとともに、保育、幼稚園及び学校関係との連携による支援の充実を図ります。障がいのある人が不当な差別的取扱に受けることがないよう合理的な配慮をしていくとともに、下野市障がい者福祉計画に基づき、障がいのある人もない人とともに生きる環境の実現を目指します。
-------------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
74	指定特定相談支援事業所数 (障がい者(児)が福祉サービスを利用するため利用計画作成等の支援を行う相談支援事業所)	年度目標値	5か所	6か所	7か所	7か所	7か所
	実績値	5か所	5か所	5か所			
	達成度		A	B			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		市内の事業所で計画相談を実施していない事業所に対し、市より促しをしている。これにより、平成29年度は1事業者増える予定。					
担当課	社会福祉課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
75	就労系サービス利用者数 (就労移行支援、就労継続支援(A型)、就労継続支援(B型)の年間実利用者の月平均人数)	年度目標値	137人/月	140人/月	140人/月	140人/月	140人/月
	実績値	93人/月	147人/月	148人/月			
	達成度		A	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度から市障がい者相談支援センターの相談支援専門員を1名増員の2名とし、相談体制の強化を図ったことから、就労系のサービスの利用の増につなげることができた。なお、第5期下野市障がい者福祉計画(平成30年度～平成32年度)を策定しており、その中で、目標値の見直しを行う。					
担当課	社会福祉課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
76	障がい者福祉の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	年度目標値	—	—	—	—	4
	実績値	3	—	—			
	達成度		—	—			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年4月1日に施行された障害者差別解消法に基づき、差別に関する相談や差別解消のための取り組みを円滑に行うため、障がい者差別解消地域協議会設置要綱を策定した。相談窓口の設置(市社会福祉課、市障害者相談支援センター)。今後も、障がいのある人も、ない人も共に生きる社会を目指し事業を進めていく。					
担当課	社会福祉課						

(工) 誰もが安心して暮らせるまちづくり	<p>地域で助け合い安心して暮らすことのできる地域福祉づくりを推進するため、地域における多様な福祉課題については、社会福祉協議会や民生委員児童委員との連携を図るとともに市民の意識啓発を図ります。また、市民の地域活動の状況や福祉ニーズについて総合的かつ計画的に対応するため地域福祉の充実を図ります。</p> <p>生活困窮者への相談支援や高齢者への適切なサービスの提供、さらに市民全体の健康増進を推進するため、市民ボランティアや関係機関との連携を図り適切な福祉サービスの充実を図ります。</p> <p>国民健康保険や後期高齢者医療においては、特定健診未受診対策など市民の健康維持を推進し、運営の健全化、医療費の適正化に向けた総合的な取り組みを実施します。</p>
----------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
77	民生委員・児童委員の活動件数  (地域社会の実態の把握、相談支援件数)	年度目標値	4,800件	4,800件	5,000件	5,200件	5,400件	5,500件
		実績値		5,302件	4,632件			
		達成度		A	B			
	平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、初任者が増えたことから活動件数の減となった。						
担当課	社会福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
78	低所得者への自立に向けた支援(自立促進)数  (就労支援等を行い、就労し自立を図った世帯の数)	年度目標値	5世帯	7世帯	9世帯	11世帯	13世帯	15世帯
		実績値		11世帯	11世帯			
		達成度		A	A			
	平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	就労支援員との連携協力等により、年度目標を超える実績となった。今後も低所得者等の自立に向け、就労支援等を利活用した取り組みに努める。						
担当課	社会福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
79	人間ドック受診率  (対象者:30歳～75歳未満)	年度目標値	4.0%	4.0%	4.2%	4.4%	4.6%	5.0%
		実績値		3.9%	4.0%			
		達成度		B	B			
	平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	国民健康保険被保険者の人間ドッグ助成事業について、市ホームページや広報4月号に掲載し、制度の普及・啓発に努めた。その結果、年度目標値に近い実績値となり、成果を出すことができた。平成29年度も引き続き、市ホームページ等で周知を行い、受診率の向上に努める。						
担当課	市民課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
80	特定健康診査受診率  (対象者:40歳～75歳未満)	年度目標値	39.0%	52.2%	56.1%	60.0%	60.0%	60.0%
		実績値		42.7%	43.0%			
		達成度		B	C			
	平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度は、特定健康診査の受診率向上を目指し、栃木県国民健康保険団体連合会が実施主体となる特定健診受診率向上支援モデル事業のモデル保険者として、不定期受診者や未経験者(過去に一度も受診していない方)を対象に受診勧奨事業を実施した。今後も28年度と同様に、受診勧奨事業を実施し、受診率の向上に努める。 国は「特定健康診査等基本指針」において、29年度の目標値を60%に設定したが、全国的に見ても目標値と実績値に開きがある状況にある。 本市の特定健診受診率は、国や県に比べて高いが、上記の理由から28年度の目標値を56.1%に設定しているため、達成度は76.6%であり、C評価となる。						
担当課	市民課							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
81	地域福祉の取組の満足度	年度目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	実績値	—	—			
		達成度					
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		第2期地域福祉計画(市)と地域福祉活動計画(市社協)を併せて計画したことにより、社会福祉協議会との連携協力を図ることができた。					
担当課	社会福祉課						

(オ) 将来を担う人づくり	<p>学校・家庭・地域社会が連携し、将来を担う児童生徒の育成と地域に開かれた特色ある教育づくりを推進するため、小中学校の教育においては、学ぶ力・豊かな心・健やかな体を育む創意ある教育活動の展開を進め、英語教育、特別支援教育、情報教育、道徳教育、食育などの更なる充実を図るとともに、学習機器の整備を推進し、教育環境の一層の向上を図ります。</p> <p>学校適正配置については、地元住民との合意形成や学校(保護者)との連携を図りながら、小規模特認校制度の取組の検証、南河内地区における小中一貫教育の推進、通学路等の安全確保と施設環境の改善などの課題に取り組みます。また、学校施設の整備については、学校の適正規模や適正配置を視野に入れつつ、効率的かつ計画的な施設整備を推進します。</p>
---------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
82	学ぶ意欲と自己有用感の評価点 (小学校)	年度目標値	3.20	3.21	3.22	3.24	3.25
	(とちぎっ子学習状況調査を評価点化したもの※最高値4.00)	実績値	3.20	3.20			
		達成度		A	B		
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		子どもたちの学ぶ意欲を高めるような教材の開発やICT機器の活用、学習形態の工夫などの様々な研修の機会を設け、教員の資質向上を図った。また、分かる授業を展開するために、ねらいを明確にした学習指導の工夫・改善について、各校を訪問して指導・助言した。数値的な変化が見られていないので、今後もさらに徹底して取り組んでいくことや、市内外の素晴らしい取組を紹介していくことに力を入れていく。					
担当課	学校教育課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
83	学ぶ意欲と自己有用感の評価点 (中学校)	年度目標値	3.01	3.02	3.04	3.07	3.10
	(とちぎっ子学習状況調査を評価点化したもの※最高値4.00)	実績値	3.01	3.01			
		達成度		A	B		
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		子どもたちの学ぶ意欲を高めるような教材の開発やICT機器の活用、学習形態の工夫などの様々な研修の機会を設け、教員の資質向上を図った。また、分かる授業を展開するために、ねらいを明確にした学習指導の工夫・改善について、各校を訪問して指導・助言した。数値的な変化が見られていないので、今後もさらに徹底して取り組んでいくことや、市内外の素晴らしい取組を紹介していくことに力を入れていく。さらに小学校での子どもたちの学びや経験を、スムーズに中学校へ繋げられるように、異校種間の連携を強化していく。					
担当課	学校教育課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
84	小中学校の教育の取組の満足度	年度目標値	—	—	—	—	5
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	実績値	—	—			
		達成度					
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		<p>知・徳・体のバランスの取れた児童生徒を育成するため調査研究を実施するとともに、教職員の資質向上、特色ある学校づくりを図った。また、平成28年度は、学校適正配置や小中一貫教育について検証するため協議会を発足・開催した。義務教育学校創設に向け引き続き協議会で検討していく。</p> <p>今後の小中一貫教育の導入のため、全市的に小中一貫連携教育を実践するため、各種事業の展開、研究会や教職員への研修等を開催していく。また、地域とともにある学校としての認識をさらに高めて、学校運営協議会の導入のため、例規整備を含め具体的な取組を図っていく。今後も継続的に施策を展開し、児童生徒の学力向上等を図り、将来を担う児童生徒を育成する。</p>					
担当課	学校教育課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
85	小中学校校舎への 空調設備設置数	年度目標値	—	12校	4校 (計16校)	—	—	16校
		実績値		12校	4校 (計16校)			
		達成度	A	A				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度において市内全中学校4校に空調機を設置したことにより、全小中学校16校への空調設備設置が完了した。						
担当課	教育総務課							

(カ) 生涯にわたり学べる機会づくり	市民の自己の実現と交流、学びを生かす環境づくりを推進するため、多様な学習機会を通じた市民の自己実現と交流、学習成果の社会還元による協働のまちづくりを支援し、生涯学習による下野市の文化づくりを推進します。 公民館では、家庭教育等ライフステージに応じた多様な学習やまちづくりに関する学習を提供し、市民の社会参加意識の高揚を図ります。図書館では、さまざまな資料や情報、学習機会の提供により市民の学習活動の支援を行います。生涯学習情報センターでは、「Youがおネット」の運営や市民活動の支援を通して、学びを生かした市民によるまちづくりを促進します。さらに、ふれあい学習・ファミリー下野市民運動等の学校・家庭・地域社会の連携による子どもの健全育成を推進します。
--------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
86	講座・講演会の年間受講者数 (生涯学習文化G・生涯学習情報センター・公民館・図書館主催講座の年間受講者数)	年度目標値	8,242人	8,242人	8,300人	8,400人	8,500人	8,600人
		実績値		8,421人	8,574人			
		達成度	A	A				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		受講者数は確実に増加しており、今後も受講者のニーズや社会情勢に即した講座を開催していく。さらに学習成果を地域づくりに活かしていけるよう支援を行っていく。						
担当課	生涯学習文化課							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
87	図書館の市民1人当たりの 年間貸出冊数	年度目標値	6.23冊	6.3冊	6.4冊	6.6冊	6.7冊	6.9冊
		実績値		6.33冊	6.1冊			
		達成度	A	B				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		昨年度より、貸出数が減少している。利用者のリクエスト等を参考に特色ある資料の充実を図ると共に、イベントや広報を通して図書館を広くPRをすることにより、貸出数・利用者数の増加に努めたい。						
担当課	生涯学習文化課							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
88	公民館の利用者数 (公務間の年間利用者数)	年度目標値	14万7千人	14万7千人	14万8,800人	15万600人	15万2,400人	15万4,200人
		実績値		15万4,842人	13万5,560人			
		達成度	A	B				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		昨年度と比較すると減少している。講座等企画の工夫及び自主グループ等の支援を行ない、利用者数の増加を図る。 また、国分寺・南河内公民館では、トイレの洋式化や老朽化した部分の修繕など、利用者が使いやすい施設となるようH29年度に施設整備を実施する。						
担当課	生涯学習文化課							

(キ) 市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり	市民がスポーツに親しみ、遊び、楽しむことができる環境づくりを推進するため、全ての市民が生涯にわたってスポーツを“楽しむ”、スポーツを通して“つながる”、スポーツに“熱くなる”取組を進め、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ活動の充実を図ります。 また、安全・安心で快適なスポーツ環境の整備に取り組むため、耐震診断に基づく改修や施設の修繕を行うとともに、市民が集い、多種目のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる総合的な運動公園として大松山運動公園の整備を推進します。
-----------------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
89	スポーツ活動の実施率 (成人の週1回以上のスポーツ活動の実施率)	年度目標値	51.7%	—	—	—	—	53.0%
		実績値		—	—			
		達成度	—	—				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		実績値については、平成28年3月に策定した下野市スポーツ推進計画の中間年となる平成32年に市民アンケート調査を実施する予定である。今後の取り組みについては、策定した下野市スポーツ推進計画に基づき着実に推進したいと考えている。						
担当課	スポーツ振興課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
90	スポーツ施設の利用者数 (スポーツ施設の年間利用者数)	年度目標値	62万1千人	62万5千人	63万人	63万5千人	64万人	64万人
		実績値		64万7千人	63万7千人			
		達成度	A	A				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		実績値については、昨年度同様に野球やグランドゴルフ、その他各種大会での利用者が増加しており、目標値を達成した。今後も老朽化した施設を計画的に改修し、また、利用しやすい体制を維持していく予定である。						
担当課	スポーツ振興課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
91	大松山運動公園の整備	年度目標値	—	—	—	—	—	整備
		実績値		—	・用地取得完了 地権者34名 61,673.35㎡ ・造成工・撤去工事			
		達成度	—	—				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度の早期に用地取得が完了したことにより、盛土・造成工事や施設撤去工事及び樹木伐採工事を前倒しで施工することができた。このため、平成29年度からは陸上競技場等の整備工事に着手し、早期の完成を目指していく。						
担当課	スポーツ振興課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
92	耐震補強に取り組む体育施設数	年度目標値	—	1施設 (延1施設)	2施設 (延3施設)	1施設 (延4施設)	1施設 (延5施設)	6施設
		実績値		1施設 (延1施設)	2施設 (延3施設)			
		達成度	A	A				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成26年度に下野市体育施設改修計画を策定し、平成28年度は2施設耐震補強工事を実施した。平成29年度は計画に沿って1施設の工事に取り組む予定である。						
担当課	スポーツ振興課							

(ク) 文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり	<p>文化的に豊かな市民生活を送ることができる環境づくりを推進するため、文化協会などの文化団体の活動を支援し、市民の文化芸術活動を推進します。</p> <p>グリムの館の効率的な管理運営と利活用の充実を図るとともに、市民ニーズ等を勘案し、文化芸術施設の整備について検討を進めます。</p> <p>文化遺産は、古から未来へつなぐ本市の重要な宝であり、引き続き整備を推進するとともに、甲塚古墳出土埴輪等の重要文化財指定に向けた作業を進め、展示収蔵施設とするしもつけ風土記の丘資料館の改修整備を進めます。また、地域間交流においては国内の様々な分野において交流を推進するとともに、国際交流や多文化共生の相互理解を一層推進するため国際感覚豊かな人材を育成します。</p>
----------------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
93	グリムの森・グリムの館の来園者数  (グリムの森・グリムの館の年間来園者数)	年度目標値	9万人	9万300人	9万600人	9万1千人	9万1,300人	9万1,800人
		実績値		11万4,281人	12万3,744人			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>指定管理者（一財）グリムの里いしばしによる管理運営が、効率的かつ安定的に継続して行われている。また、財団主催の有料の3公演についてアンケート調査を実施し、概ね好評だったことから、今後も継続して事業実施に取り組み、更なる利用者の増加を図ることとした。</p> <p>平成29年度においては、「グリムの森・グリムの館」における平成27年度～平成29年度までの指定管理者管理運営状況等を検証し、平成30年度以降の指定管理者選定に向けた取組を推進する。また、地方創生の取組の一環として、グリムの森・グリムの館のより一層の活用を図るため、新たな施設整備等を実施する。</p>						
担当課	生涯学習文化課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
94	下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数	年度目標値	40人	42人	44人	46人	48人	50人
		実績値		42人	53人			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>下野薬師寺歴史館では、昨年に引き続き下野薬師寺ボランティア養成講座を開催し、新たに3名がボランティア活動を行うことになった。</p> <p>しもつけ風土記の丘資料館では、平成28年度より、しもつけ風土記の丘資料館ボランティア養成講座を開催し、新たに10人がボランティア活動を行うこととなった。</p> <p>今後も継続して、ボランティア養成講座を開催し、会員数増加を目指す。</p>						
担当課	文化財課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
95	国内交流協会会員数	年度目標値	64人	65人	65人	66人	66人	67人
		実績値		68人	70人			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>協会活動のほか会員の獲得に向けて、PR等を行ったところ、会員数を2人増やすことができた。今後も教会活動のPRを進めていく。</p>						
担当課	市民協働推進課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
96	国際交流協会会員数	年度目標値	375人	378人	381人	384人	387人	390人
		実績値		380人	380人			
	達成度		A	B				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>市のイベントで、協会活動をPRしたが、増減を含め昨年と同じ実績となった。平成29年度は協会のパンフレットを新規作成し、PRを効果的に行い、新会員の獲得を目指す。</p>						
担当課	市民協働推進課							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
97	国指定史跡地の整備進捗率	61.50%	—	—	—	—	64.0%
	実績値		63.1%	65.5%			
	(国指定史跡の公有化率)	達成度	—	—			
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		平成29年度は下野国分尼寺跡の公有化を行った。今後も必要に応じて公有化を実施していく。					
担当課	文化財課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
98	しもつけ風土記の丘資料館 入館者数	1万5千人	1万6千人	1万7千人	1万8千5百人	1万7千5百人	1万8千人
	実績値		1万8千671人	1万9千人			
	(「しもつけ風土記の丘資料館」 の年間入館者数)	達成度	A	A			
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		年間を通じて約3,000名の県内の小学6年生が歴史学習として来訪。また、一般見学者が花まつり期間や秋に集中して入館。このほか、周辺自治体の専門職員に協力を依頼し定期歴史講座(全6回)を開催(275名参加)。今後もイベントや講座等を行い入館者の増加を目指す。					
担当課	文化財課						

(ケ) 安全・安心な生活環境づくり

市民が安心できる生活環境づくりを推進するため、消防・防災対策では、自主防災組織を設置するなど市民・地域・行政が連携強化を図るとともに、災害時に迅速かつ適切な応急対策を行うために消防署・消防団の充実を図ります。

防犯対策では、引き続き警察や関係団体と連携した防犯活動を推進します。また、空き家対策では「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、特定空き家の所有者に対し適正に管理を行うよう指導等を行います。

消費者行政では、消費生活センターにおける相談事業を中心に、消費者団体や事業者と連携を図りながら消費者情報を広く発信し、被害の未然防止や早期解決に向け取り組みます。

交通安全対策では、交通指導員の適正な配置、自転車の正しい乗り方などの交通安全教育・啓発事業を実施するほか、カーブミラーや標識などの交通安全施設の整備を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
99	自主防災組織設置数	8組織	8組織	10組織	12組織	14組織	15組織
	実績値		8組織	8組織			
	達成度	A	B				
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		平成28年度に1組織が設立されたが年度内に解散となった。再度組織化を目指しているため支援を行う。自主防災組織の設置だけではなく活動を活発にするため、消防署の指導のもと防災訓練を行うなど組織の充実強化を図った。自治会長連絡協議会総会や団体等の集まりに参加し、組織の必要性を訴え啓発活動を行ったことにより、組織設置の意識が高まってきており、相談件数も増えた。引き続き推進を図る。					
担当課	安全安心課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
100	消費生活に伴う相談 及び問い合わせ件数	280件	280件	285件	290件	295件	300件
	実績値		272件	265件			
	(消費生活センターの年間相談 件数)	達成度	B	B			
平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組		消費生活に関する相談は、インターネットの利用者層の広がりにより増加している情報通信に関するものや特殊詐欺などの案件があり、内容についても多種・多様化している。件数は減少しているものの1件の相談に係る時間が長いなど、複雑化している内容の相談に対応した。消費者の被害防止に向けて、消費生活センターの周知に努めるとともに相談体制の強化を図っていく。					
担当課	安全安心課						

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
101	防犯の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	年度目標値	3	—	—	—	—	4
		実績値		—	—			
		達成度		—	—			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度に市内防犯灯をLED防犯灯に変更するESCO事業を行い、防犯体制の充実を図った。さらに街頭防犯カメラ設置補助事業については、年々周知が図られ、平成28年度は15件の設置があり、防犯環境の構築に寄与した。警察署や地元協力団体と協力して防犯の啓発を推進した。						
担当課	安全安心課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
102	消費者保護の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	年度目標値	3	—	—	—	—	4
		実績値		—	—			
		達成度		—	—			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		消費生活センターにおける相談事業を中心に、消費者及び消費者団体や事業者が協働し連携しながら消費者情報の発信を行った。被害の未然防止や早期解決に向けた消費者被害防止のための啓発を図る。						
担当課	安全安心課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
103	交通安全対策の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	年度目標値	3	—	—	—	—	4
		実績値		—	—			
		達成度		—	—			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		下野警察署、交通安全協会等、関係団体と共に、各期ごとの交通安全運動を実施し、高齢者と子供の交通事故防止、更にマナーアップ向上を目的とした広報啓発活動を展開した。						
担当課	安全安心課							

(コ) 快適に暮らせる環境づくり	市民が安心して暮らすことができる快適な生活環境づくりを推進するため、デマンドバスの利用率向上を目指し運行形態を見直すとともに、広域市町との連携した交通ネットワークの構築を目指します。 また、小山広域保健衛生組合を中心としたごみ処理の広域事業を推進し、市内統一したごみ処理と分別・リサイクルの徹底によるごみ減量化を推進します。 環境行政については、下野市環境基本条例及び基本計画に基づき、しもつけ環境市民会議などによる、市民、企業、行政がそれぞれの特質を活かした協働による環境保全や環境創出事業を推進します。
------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
104	市民1人1日あたりの 資源物以外のごみ排出量 (ごみ排出量の目標値)	年度目標値	527g/人/日	522g/人/日	518g/人/日	513g/人/日	509g/人/日	504g/人/日
		実績値		549g/人/日	479g/人/日			
		達成度		B	A			
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		小山広域保健衛生組合の施設更新により、平成28年度から南河内・国分寺地区において、プラ容器包装の分別収集を実施し、焼却ごみが減少した。今後も「さんあーる」分別アプリ導入、広報紙などを活用し、分別の周知に努める。 参考：プラ容器包装収集量 863.36tを焼却ごみとして計算すると518g/人/日となる。						
担当課	環境課							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
105	市民と企業・行政の協働による 環境保全活動の実施  (下野市環境基本計画協働プロジェクト実施数)	年度目標値	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業	4事業
		実績値		2事業	2事業			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	環境基本計画の第3編に記載されている協働プロジェクトのうち、環境教育・環境学習の推進と環境交流の促進について市民団体と協働プロジェクトを実施した。次年度においても、しもつけ環境市民会議をコーディネーターとして協働プロジェクトを実施していきたい。						
担当課	環境課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
106	公共交通の整備の取組の満足度  (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	年度目標値	3	—	—	—	—	4
		実績値		—	—			
	達成度		—	—				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	デマンドバスの利用について、利用実績や評価を踏まえて見直し、平成28年度から運行の時間帯や曜日の変更を行った。利用の少ない7時帯を17時帯に変更したことで、変更前の時間帯より利用者が増加した。需要に見合った運行と利用者の負担も考慮しながら、将来にわたり持続可能な地域公共交通を目指し、事業の推進を図る。						
担当課	安全安心課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
107	環境対策の取組の満足度  (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	年度目標値	4	—	—	—	—	5
		実績値		—	—			
	達成度		—	—				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野市環境基本計画推進委員会部会を設置し、部会を中心に環境対策の推進や必要な事項の調査、検討を行った。次年度も28年度の実績を踏まえ環境対策を推進していく。						
担当課	環境課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
108	公害対策の取組の満足度  (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	年度目標値	4	—	—	—	—	5
		実績値		—	—			
	達成度		—	—				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野市環境基本計画推進委員会部会設置し、部会をを中心に公害対策を実施した。今後と同様に公害対策を実施していく。						
担当課	環境課							

(サ) 協働のまちづくりの体制づくり	下野市自治基本条例に基づく協働のまちづくりを推進するため、市民、NPO、企業等の多彩な担い手によるまちづくりと連携し、市民が主体となった地域づくり活動に対する支援の充実を図ります。 また、調和のとれた豊かな社会を実現するための人権意識啓発を推進するとともに、男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進します。
--------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
109	市民活動補助事業の団体数 (審査会を通過する年間団体数)	年度目標値	10団体	11団体	11団体	12団体	12団体	13団体
		実績値		11団体	19団体			
	達成度		A	A				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		目標値を上回る19事業の申請があり同数が交付決定、実施に至った。						
担当課		市民協働推進課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
110	人権教育講演会の受講者数	年度目標値	100名	100名	110名	120名	130名	140名
		実績値		20名	300名			
	達成度		D	A				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		男女共同参画都市宣言記念式典との合同開催としたため、来場者が多かった。引き続き多くの方に興味を持っていただけるよう、内容を検討していく。						
担当課		生涯学習文化課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
111	社会全体で「男女平等である」と回答する人の割合 (男女共同参画プラン策定時アンケート調査において実施)	年度目標値	12.2%	—	—	—	—	18.0%
		実績値		—	—			
	達成度		—	—				
平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		第二次男女プランが平成28年度からスタートしており、目標値を達成すべく、各施策の実施に努めた。アンケートは3次プラン策定に向け平成31年度に実施する予定。						
担当課		市民協働推進課						

(シ) 健全な行財政運営の仕組づくり	行政運営の効率化による健全財政のまちづくりの推進のため、引き続き行財政の計画的・効率的な運営を図るとともに、公共施設の計画的・効率的な管理運営・利活用を推進し、財政負担を考慮した施設の再配置計画に取り組みます。 また、市民と行政の情報共有をより一層推進するため、積極的な情報発信に取り組むとともに、単独市町では実施が難しい事業等については、周辺市町と連携した取組を推進し、広域的な住民サービスの充実を図ります。
--------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
112	公共施設等総合管理計画策定 (公共施設マネジメント基本方針等の策定)	年度目標値	—	策定	—	—	策定
		実績値	—	策定			
	達成度		—	A			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成27年9月に発行した「下野市公共施設白書」を基礎資料として、有識者や各種団体の代表者、公募の市民から構成される「下野市公共施設マネジメント検討委員会」において、今後の公共施設等のあり方について基本的な考え方を示した「下野市公共施設等総合管理計画」の検討を行い、パブリックコメントを経て平成29年3月に策定・公表した。計画の策定により目標値は達成したが、平成29年度以降は、本計画に基づき個別施設計画の策定を進めていく。					
	担当課	総合政策課					

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
113	市ホームページアクセス数 (市ホームページの年間アクセス数)	年度目標値	110万件	112万件	114万件	116万件	118万件	120万件
		実績値	110万件	124万件	129万件			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	常に最新の情報に更新し、利用者にとって必要な情報を継続的に提供できるように取り組んだ。 また、平成29年3月末にホームページのリニューアルを行った。ページの分類分けや、キーワード検索により、利用者が必要としている情報へのアクセスがしやすくなった。 平成29年度はイベント情報の充実を計り、より必要とされるホームページになるように更新していく。						
	担当課	総合政策課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
114	共同連携事業数 (広域連携事業の事業数)	年度目標値	21事業	21事業	22事業	22事業 64事業	22事業 65事業	23事業 66事業
		実績値	21事業	21事業	62事業			
	達成度		A	A				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	小山市・下野市・野木町・結城市を構成市町とする小山地区定住自立圏の形成に関わる協定を締結し、医療・福祉や産業振興などの様々な分野における具体的連携事業を協議・決定し、『小山地区定住自立圏共生ビジョン』を策定した。中心市である小山市と本市の連携事業は、工業団地開発についての広域連携事業など40事業とした。また、平成27年度設置の下野市・上三川町・壬生町連携会議における初めての事業として、新たな人の流れを生み出す1市2町連携プロジェクト事業を実施し、具体的には連携婚活バスツアーを3回実施した。 今後、引き続き連携により、事業の効率化・サービスの充実等を図っていくとともに、定住促進・地域活性化を図っていく。						
	担当課	総合政策課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
115	他市町との連携の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	年度目標値	3	—	—	—	—	4
		実績値	3	—	—			
	達成度		—	—				
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	本年度に協定を締結した小山地区定住自立圏において、今後、中心市である小山市との連携事業を展開し、地域のサービス等充実させることにより満足度の向上を図る。						
	担当課	総合政策課						